

平成30年度 学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

平成30年4月1日

学校教育目標	1 自主性を重んじ、個性と能力を伸ばし、豊かな知性と創造性、実践力を育成する。 2 豊かな心の育成と健康・体力の増進を図る。 3 社会の一員としての責任と自覚を促し、たくましく生きる力を育成する。	
今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	達成度の判断・判定基準あるいは評価指標
1 学校経営の重点 地域に開かれた魅力ある高校づくりを進める	① 学校の公開や積極的な情報発信を進めるとともに、「 <u>地域連携による活力ある高校づくり協議会</u> 」等を通し、地域の要望や願いを学校経営に反映します。 ② 「普通科」、「理数科」それぞれに特色ある教育課程を編成し、 <u>地域人材や教育資源を活用した魅力ある教育活動により、生徒や保護者のニーズに応えます。</u>	①協議会委員・学校評議員・保護者による評価 ②中学生の進路希望調査、1日入学参加者数、生徒保護者による学校評価
2 教科指導の重点 授業改善と学習指導の充実に努め、確かな学力を育成する	① 基礎的基本的な知識・技能の習得を図るとともに、 <u>アクティブラーニングを推進し</u> 思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育てます。 ② <u>少人数学級や習熟度別授業、進路希望に合わせたコース設定や選択授業など、個々に応じたきめの細かい学習支援を行ないます。</u> ③ 公開授業、研究授業を計画的に行い、生徒、保護者、学校関係者による評価をもとに、ICT活用も含めて <u>積極的な授業改善を進めます。</u>	①生徒による授業評価、教員相互の評価 ②③授業アンケート、卒業生アンケートの評価、生徒・保護者等による学校評価
3 生徒指導の重点 共感的な理解に徹し、望ましい人間関係を築く力と自己指導能力を育てる	① 「 <u>生徒指導の指針</u> 」「 <u>いじめ防止基本方針</u> 」をもとに、指導の共通理解、共通行動を行い、生徒の自律心、判断力、責任感を育みます。 ② 生徒の状況や情報を常に把握し、職員間で情報を共有しながら日常的な <u>教育相談活動</u> と生徒支援を行います。 ③ 学校生活を通して <u>集団の一員としての自覚と規範意識</u> を高め、 <u>他人や社会との関係性を尊重できる個人</u> を育みます。	①生徒・保護者・職員へのいじめ等迷惑調査 ②いじめ防止等対策検討会議での評価 ③生徒・保護者による学校評価、身だしなみ指導件数等
4 進路指導の重点 生徒が主体的に将来にわたる進路を設計できるように計画的・組織的に支援する	① 生徒が自己の適性や能力を理解し、生きがいをもってライフプランニングができるよう <u>望ましい職業観や人生観</u> を育成します。 ② 高大接続改革に対応し、3年間を見通した進路指導計画（補習、模試面接小論文指導等）を確立して <u>生徒の進路実現を支援</u> します。 ③ 生徒、保護者、職員にとって必要な進路情報を提供するとともに個に応じた支援を行います。	①進路希望調査の結果や説明会等での生徒感想文 ②センター試験出願者数、大学合格実績、公務員合格率等 ③各種調査及び模擬試験等の結果
5 特別活動の重点 互いに支え合う関係を構築し、好ましい人間関係を作り上げ、豊かな人間性と思いやりのある行動力を育てる	① ホームルーム活動を中心に、生徒会活動、部活動、委員会活動等の諸活動を通して <u>集団の一員としての自覚と望ましい人間関係の形成</u> を支援します。 ② 生徒会活動の活性化と柏葉祭等の生徒会行事の充実に図ります。 ③ 部活動に目的意識を持って、 <u>自主的・自発的に参加</u> できるよう部活動の活性化を図ります。	①②球技大会や柏葉祭等の生徒会行事への取り組み状況 ③部活動加入率、参加・活動状況、大会成績等
6 健康安全指導の重点 自らが健康で安全な生活を営む能力や態度、環境美化を通じた豊かな心を育成する	① 健康診断や <u>防災教育</u> を通じて、自らが <u>健康で安全な生活を営む能力・態度</u> の育成を図ります。 ② 日々の清掃活動、マナー教育（公共施設の利用）を通じて、 <u>豊かな心の育成</u> を図ります。	①健康診断受診勧告者受診率、命を守る訓練取り組み状況、災害図上訓練実施前後比較、非常変災時帰宅確認報告率 ②生徒委員会、職員による清掃状況チェック等
7 キャリア教育の重点 「地域に根付いた地域に愛される地域に貢献できる学校」の具現を通し、課題解決能力を育てる	① 地域課題解決型キャリア教育である「 <u>吉城高地域キラメキ（YCK）プロジェクト</u> 」の4分野（「観光」「福祉」「教育」「防災」）の活動を通して、 <u>課題解決能力と主体性</u> を持って多様な人々と <u>協働して学ぶ態度</u> を育てます。 ② 「総合的な学習の時間」等を有効活用し、生徒一人一人の社会的・職業的自立を促すとともに、 <u>社会の中で自らの役割を主体的に果たそうとする態度</u> を育てます。	①YCKプロジェクトへの生徒参加人数、振り返りシートやESDパスポート等のポートフォリオ ②プロジェクトリーダーによる振り返り、キャリア教育指標による評価

